

【大学入試レベルの問題(難)】

次の文章は、「ロシア皇帝と会った日本人たち」(平井由夫)から抜粋したものである。よく読んで後の問に答えなさい。(なお一部表記を改めたところがある。)

(a)イヴァン4世の命により、( 1 )を隊長とする(b)コサック部隊がウラルを越えてシベリアに侵攻したのは1581年、弓矢を主な武器とするアジア系先住民を火器で押しながら、東へ東へと進んだロシア人が太平洋に達するまでに(c)ほぼ100年かかった。

シベリア東端に派遣されたコサック隊長アトラソフは、ほぼ3年かかってカムチャツカ半島をロシア帝国の版図とした。この時アトラソフは先住民の集落に囚われていた1人の異国人を発見した。名は伝兵衛。大坂から江戸へ向かう途中、暴風に遇って漂流した日本商船の乗組員である。

伝兵衛はシベリアを横断して当時の首都  に送られ、1702年ピョートル大帝に謁見した。南方への進出に頓挫し、(d)北方戦争の緒戦に敗れて間もない大帝が、初めて日本人を見て思いついたのは日本語学校を設立することであった。驚くべき遠望である。

デンマーク出身のロシア帝国海軍軍人( 2 )が(e)アメリカ大陸とユーラシア大陸を分かつ( 2 )海峡を発見することになる第1次カムチャツカ探検に出発したのは、(f)ピョートル1世(大帝)の遺言となった命令による。後進国ロシアの激越な“改造者”として終始した治世にあつて、主力のすべてを国内改革と北方・西方・南方への勢力拡大に費やしてきた大帝が、ようやく死の直前になって東方の海への進出を実現したわけである。

伊勢白子の船頭大黒屋光太夫以下17名が乗り組む千石船神昌丸が、江戸への廻米の途上暴風に遇ったのは1782年12月。漂流のすえアリューシャン列島の島に漂着し、4年後に在留していたロシア人とともに手製の船でカムチャツカに渡った。光太夫は日本語学校教師になるよう迫られたが、その要請を拒否し、1712年に遷都されていた  に赴き1791年、時の皇帝エカチェリーナ2世に謁見する。この女帝は光太夫の話聞いて大いに憐れみ、日本に送り返すようはからった。これには(g)啓蒙専制君主エカチェリーナが時に見せる優しさもあるだろうが、(h)フランス、イギリス、オーストリア、プロイセンなどの当時の列強と伍するまでに帝国を発展させたロシア皇帝にして初めて思いつく漂流日本人の使い道でもあったろう。

伝兵衛が謁見したときのピョートル大帝とちがいで、1791年のエカチェリーナ2世は覇業を成就した晩年の最盛期、(i)トルコと(j)ポーランドから莫大な領土と人民を獲得したころであった。漂流民送還を手土産に鎖国日本の門戸を叩くことがようやく熟した時代である。こうして日本人漂流民3名を乗せた( 3 )の遣日修好使節船エカチェリーナ2世号が1792年秋に根室に到着、越冬ののち函館にいたる。徳川幕府は2人の日本人を受け取ったが、修好は拒否してロシア船を追い返した。帰国した光太夫ら2名は江戸城近くの薬草園に軟禁されたまま、故郷伊勢を見ることなく死ぬ。

(問)

- 文中の( )の中にあてはまる最も適切な人名を記入しなさい。
- 文中の  と  にあてはまる地名を、それぞれ記しなさい。
- 文中の下線部について、それぞれ答えなさい。
  - この皇帝に関連して述べた文章として、正しいものを選びなさい。
    - ツァーリの称号を初めて使用した。
    - 農奴に対する移動の自由と財産権を認めた。
    - 貴族に激しい弾圧を行ったことから“雷帝”と呼ばれた。
    - ビザンツ皇帝の姪と結婚し、ビザンツ帝国の継承者を自認した。
  - これに関連して、17世紀後半に、カスピ海からヴォルガ川下流域に勢力が及んだ、コサックを首領とする大農民反乱の名称を書きなさい。

- c. この時期において、イヴァン4世の遠縁にあたる(妻の兄の子孫)人物がロシアの全国会議で皇帝に選出され、以後約300年間にわたって続くロシアの王朝が成立した。何という王朝か。
- d. この戦争に関連して述べた文章として、正しいものを選びなさい。
- ア ラシュタット条約により終了した。
- イ スペイン継承戦争が終了した後、始まった。
- ウ ロシアは、ポーランド・デンマークと連合してスウェーデンを攻撃した。
- エ ピョートル大帝は、最終的にスウェーデン王グスタフ=アドルフを破った。
- e. その後、1741年に( 2 )による探検が行われ、ロシア領となり、毛皮貿易が行われるようになった場所を答えなさい。
- f. この皇帝が征服した、ヴォルガ川中流域に存在していたモンゴル系の国家を答えなさい。
- g. この皇帝が交流した啓蒙思想家にヴォルテールがいる。ヴォルテールがプロイセンの啓蒙専制君主に招かれ、一時期過ごしたロココ式の宮殿の名称とその所在地を答えなさい。
- h. 次の文章はこれらの諸国の君主に関連する出来事に関するものである。年代順に古い方から並べかえて**3番目**にくる出来事を選び、その君主の名前も合わせて書きなさい。
- ア アーヘン条約により、ハプスブルク家領の継承を認められた。
- イ フベルトゥスブルク条約により、シュレジエン領有を確定させた。
- ウ ユトレヒト条約により、ニューファンドランドをイギリスに割譲した。
- エ スペインの無敵艦隊(アルマダ)との海戦に勝利し、海外進出を進めた。
- i. これはオスマン帝国のことである。オスマン帝国軍が戦った1571年の海戦に関連して述べた文章として、正しいものを選びなさい。
- ア オスマン帝国が地中海制海権を握ることになった。
- イ オスマン帝国が「太陽の沈まぬ国」と呼ばれることになった。
- ウ オスマン帝国の衰退はこの戦いから始まったとされている。
- エ オスマン帝国がスペイン・ローマ教皇・ヴェネツィア同盟軍に敗北した。
- j. ポーランド王国に関連して述べた文章として、**誤っているもの**を選びなさい。
- ア 第1回ポーランド分割には、ロシア・プロイセン・オーストリアが参加した。
- イ 第2回ポーランド分割は、フランス革命中に行われ、プロイセンは参加しなかった。
- ウ 第3回ポーランド分割により、ポーランド王国は完全に消滅した。
- エ コシューシコ(コシチューシコ)は、ポーランド分割に反対し、民衆蜂起を指導した。

### 【解答】

1. 1 イェルマーク      2 ベーリング      3 ラクスマン
2. A モスクワ      B ペテルブルク
3. a ウ      b ステンカ=ラージンの乱      c ロマノフ朝      d ウ      e アラスカ  
f カザン=ハン国      g サンスーシ宮殿・ポツダム      h ア・マリア=テレジア  
i エ      j イ

### 【配点】

1. 2. 各1点×5=5点      3. 各2点×10=20点      計25点